

ふれあい

2020

12

No.405

牛久愛和総合病院 広報誌



ひたち野ステーションクリニック開設について

特任副院長兼内科部長（ひたち野ステーションクリニック院長） 千葉 俊也



既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、最近完成したひたち野うしく駅に直結するエルダー向け分譲マンション（サニミットひたち野東ステーションフロント）内に、来年1月中旬旬当医療法人常仁会がクリニック（ひたち野ステーションクリニック）を開院することになりました。同マンションの医療・介護のサポートを当院が担うのにあたり、前線医療機関としての位置付けです（もちろんマンション居住者以外の方も診療対象です）。この度その責任者として、私が就任する運びとなりました。

私が当院に赴任したのは平成9年ですので、四半世紀近く医師としての多くの時間を過ごしてきました。常勤医では最古参となります。従って病棟の建て

替えや介護施設の併設等のハード面、電子カルテ導入や多くのスタッフの移動等のソフト面、更には東日本大震災や新型インフルエンザウイルス等の災厄への対応等、当院の変遷の大部分を目の当たりにしてきました。

この間大学医局から他の医療機関への移動の打診も無くはありませんでしたが、いずれもお断りしてきました。その理由を言葉で表現することは難しいのですが、職場の雰囲気や仕事のしやすさ等が、私を引き留めてきたような気がします。この度近くとはいえ、慣れ親しんだ当院を離れることになり、正直後ろ髪を引かれる思いは拭えませんが、今は気持ちを一新して、別の形で地域医療に貢献できればと考えております。

クリニックの性格上、当院のような充実した検査体制や治療機器等は乏しく、限られた手段で診療にあたることになりました。当然限界はありますが、長い医師生活で培ってきた経験に基づき診療能力を最大限発揮し、可能な限りの医療を提供し、

無必要性があれば当院の専門科へ躊躇なくご協力を依頼するつもりです（関係各科の医師にはこの場を借りてお願いいたします）。なお当分の間、当院でも外来診療を継続していく予定にしております（木曜日）。

未だ収束の道筋が見えない新型コロナウイルス感染症を始め、近年医療を取り巻く情勢はめまぐるしい変化を見せ、一層厳しさを増して来ています。よりの確な診療や経営判断を求められる中で、院長就任という重責を託されたことに、身の引き締まる思いがしております。微力ですが、医師としての残りの時間を費やして、少しでもこの地域の医療に貢献できればと考えております。



DMカフェ



糖尿病専門医 河邊 聡子

朝晩の冷え込みを感じる季節になりました。もうすぐ本格的な冬がやってきます。ウィルス感染がひろがりやすい冬こそ、換気、うがい、手洗い、マスクです。今年、薬剤不足によりインフルエンザの予防接種ができず、不安を感じている方はいませんか？ 予防接種は確かに重要ですが、感染を完全に防ぐものではないため油断は禁物です。予防接種をうけた方もうけなかった方も十分な感染対策を心がけてください。新型コロナ感染は飲食の場やトイレなど休憩室でおこる危険性が高いことがわかってきました。高齢者の方、糖尿病など基礎疾患のある方は自分の食事は最初に分けておく、食事中は会話しないなど工夫が必要です。食後にマスクを着用してから会話を楽しみましょう。万が一、体調が悪くなったら、まずはかかりつけ医に電話で相談しましょう。



こどもの予防接種についてのおはなし

小児科 部長 稲見 由紀子

小児科の診療のなかで、私たちが時間をかけて取り組んでいる大切なことのひとつに、予防接種があります。重篤な病気からお子を守るのにとっても有効な手段です。

小児科が関与する定期予防接種の種類は、病気の種類で数えて16種類にわたります。特に2歳までの接種スケジュールは忙しく、延べ23回程度の接種となります。生後2か月からワクチンを開始し同時接種を行うことで、その病気にかりやすい時期に十分な効果が出るように計画されています。(注)

小さな赤ちゃんに同時に何種類かの予防接種を打つにあたって、ご家族から心配の質問をされることも時々あります。こんなに小さい子にワクチンを打って危なくないですか？一度に何本も打つのはかわいそうです。というご意見が多いです。生後2か月からのワクチン同時接種については諸外国での長年のデータも合わせて検討されており、有効性、安全性とも十

分に確認されています。同時に接種することで一本ずつ打つ時と比べて副反応がより多く起こるということもありません。それぞれの疾患が重症化しやすい時期に合わせて、予防効果が得られるようにしっかりと考えられたスケジュールですので、新型コロナウイルスの流行が心配される時期でも遅らせることなく接種していくことが大切です。当院小児科では感染症との接触を避けるため一般診察と予防接種、乳児検診の時間帯を分けて対応しておりますので、どうぞご安心ください。

もしも予防接種について「なんだか良く分からなくて不安だ。」とお感じの時には、遠慮なく小児科を受診して質問して下さい。お子さんにとって、より良い方法をご家族と一緒に考えていきたいと思っています。

(注) 小児科学会ホームページ (http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/vaccine_schedule.pdf) この10月にワクチンどうしの接種間隔の規定が大きく変わり、少し計画をたてやすくなりました。

入職者

10月23日付

■総務課

菅野 秀芳

利用者様が気持ち良く利用できるよう、気配りと明るい挨拶を心掛けてまいります。

11月1日付

■情報システム管理室

岩瀬 宏輔

皆さんに頼りにされる職員になれるよう日々努力して参ります。

■春秋園

石橋 秋香

■看護部

看護師 草間 清美

未経験の分野ですが、笑顔で絶やさず患者様に信頼していただけるよう努めたいと思います。

2020年度

皆さんからの感謝の声

入院中は、大変お世話になりました。ありがとうございます。医師の方々、看護師の皆様、スタッフの方々、感謝の気持ちでいっぱいでございます。大変な毎日が続きますが御自愛くださいませ。

足に障害があり、階段



春秋園だより



はやくも一年のしめくくり、師走がやってきました。今年は何かと不便の多い一年でしたが、この状況が一日も早く解消され平穏な日々が戻りますようお願い申し上げます。例年ならば様々なイベントやボランティア活動が行われていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響で多くの行事が中止となりました。春秋園では感染対策を徹底した上で日々のサービスを提供しています。今回は通所リハビリでの感染対策についてご紹介いたします。

通所リハビリでは朝の送迎の際は自宅で検温実施して頂き、園に到着した後の手指消毒を行っています。その後は通常通りバイタルチェックを行い、体調に変化がないか確認しています。昼食前やおやつ前にも手指消毒を行い、口腔体操の時にはマスク着用を促すアナウンスを職員が実施しています。またフェイスシールドを使用したり、パーティションを設置したりと飛沫感染対策に務めています。使用後のフェイスシールドやマスク、パーテーションは、除菌クロスで適宜消毒しています。話は変わり、国内の感染対策に目を向けますと、今年はお節料理も様変わりしているようです。従来の「重箱で囲んで召し上がる商品」に代わり、「二人分に小分けされ、取り分けないで食べられる商品」が売り上げを伸ばしているそうです。

(春秋園通所スタッフ一同)

シミュレーション研修

HCU主任 粉川 竜也

看護部では看護師の育成を経験年数ではなく実践能力に合わせて行っています。クリニカルラダーシステムとして看護師の実践能力をI～Vにレベル分けして、レベルに合わせた研修を毎月開催しています。その研修の中に今年から「シミュレーション研修」というものを企画しました。



シミュレーション研修とは実際の看護場面を再現し、ケアや処置、患者・家族の対応などを学ぶ研修です。この研修のメリットは同じ場面を繰り返し実践できるので、失敗しても何度でも学習することが出来ます。また、様々な場面を再現できるので、実践能力に合わせた研修が開催できます。

今年には脳梗塞患者の身体観察方法や医師への報告方法、心肺蘇生時の対応について開催しました。

場面の再現力が低いと受講者もイメージが沸きにくいので、研修を作る側も一生懸命患者役を演じ、病室等の雰囲気作りを行っています。

Dr趣味リレー

はじめまして、今年度から牛久愛和総合病院で働かせてもらっています

初期研修1年目の木村伊穂利です。

そして私の趣味は...

アニメキャラクターを描くことです！



いろんなアニメを見て



そんな私のスニーカーコーナーの道は始まったばかりです



精一杯頑張ってますので、応援よろしくお願いします。



運動会

《出来事ピックアップ》

十月二十一日(水)運動会を行いました。初めて、子ども達だけで園庭で開催しました。

始めにかけっこです。名前を呼ばれると、「はい!!」と大きな声で手を挙げ、返事をしながら走って行きました。皆、笑顔です。

年長児の竹馬では、皆が見る中、一人ずつ緊張の出發で

す。「がんばれ」と声援を受け、トラックを一周し、ゴールをした子ども達は、とても誇らしい顔をしていました。

競技で負けて悔し泣きをする子もいましたが、再チャレンジして笑顔で終わる事が出来ました。晴れ渡った秋空の下、運動会が出来て良かったです。閉会式後、「もっとやりたい!!」と何周も走っている子ども達の姿がありました。

(保育課係長・榎原)

編集だより

2020年は新型コロナウイルスの影響で慌ただしい年でした。2021年は影響が少しでも落ち着いた年になることを願うばかりです。

(S・M)



病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489床 (一般391床 医療療養型55床 地域包括ケア43床)

施設

敷地 59,449.60㎡ 駐車場 1151台



診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮 膚 科 (レーザー外来)
外 科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

《関連施設》

総合健診センター Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス Tel 029-874-8791
人工透析センター
地域リハ・ステーション
介護老人保健施設 春秋園 Tel 029-870-3100
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久 Tel 029-817-5111

